

ノンケミカル製法の純国産プレミアムオイル

コメ圧搾オイル

(コメヌカ油)

国産米の米ぬかより
搾油・物理精製した
ライスブランオイルです

天然素材・製法

国産米100%

低温圧搾

スチームリファイニング製法

機能性成分

γ オリザノール

スーパービタミンE

フィトステロール

効 果

保湿

肌バリア

美白

アンチエイジング(抗酸化)

UVケア

ダメージケア

米ぬかのチカラを ありのままに 和のプレミアムオイル

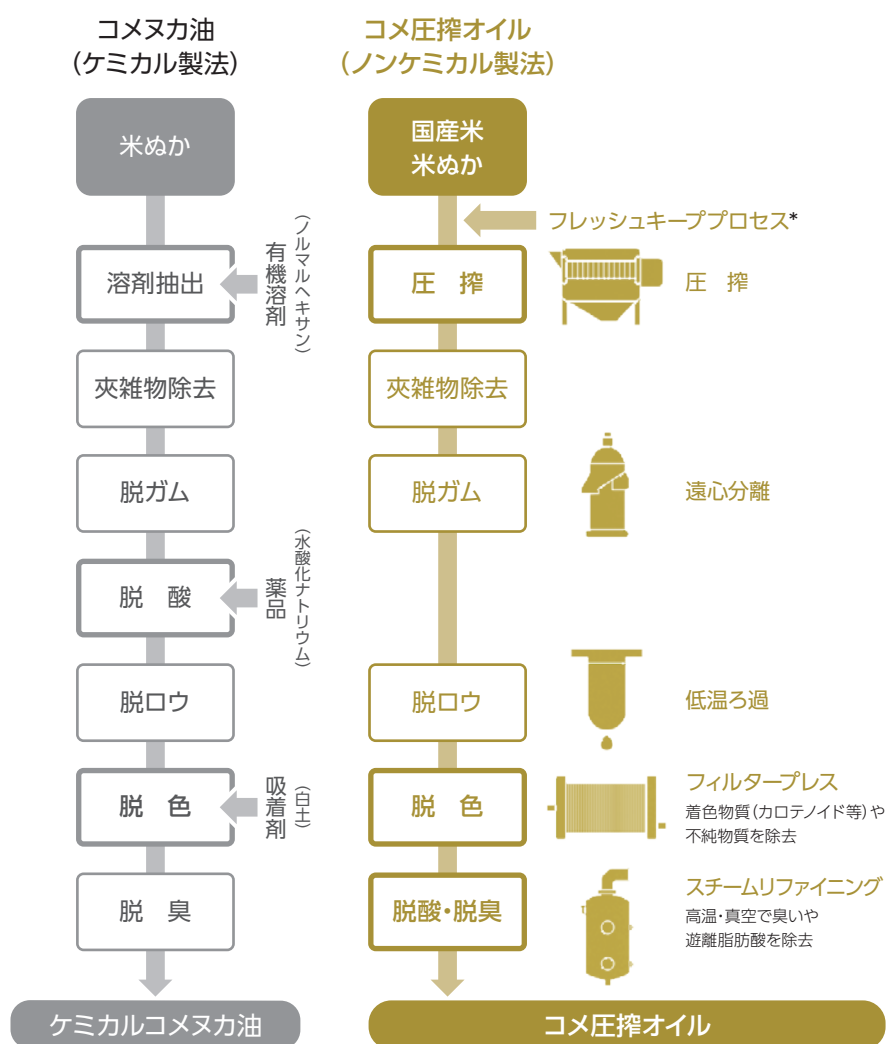
玄米中の約80%の栄養素が含まれる米ぬか。

薬剤を一切使用しないノンケミカル製法で、米ぬか本来のチカラを引き出すことを可能にしました。

こだわりのノンケミカル製法

一般的なコメヌカ油は、有機溶剤（ノルマルヘキサン）や化学薬品等を使用し製造されます（ケミカル製法）。

コメ圧搾オイルはそれら薬剤を一切使用しない、独自のノンケミカル製法にこだわり製造しています。



新鮮な玄米から、約**0.5%**しか取れない

*スタビライザー処理

Point 01 米ぬかの鮮度

フレッシュなまま届ける

米ぬかは精米すると同時に酵素(リパーゼ)による脂質の分解が起こり、劣化(酸化)してしまいます。フレッシュなまま短時間で加工するため、トレーサビリティのとれた国産米を国内で加工。さらに独自のフレッシュキーププロセス*により、劣化の原因となるリパーゼを失活させ、鮮度を維持した米ぬかを用いることを可能にしました。

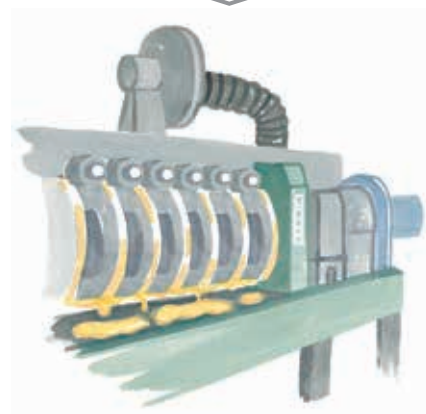
*スタビライザー処理



Point 02 低温圧搾法

素材をよりナチュラルに

玄米から絞り出されるわずか約0.5%のライスブランオイル。その貴重で高機能な成分を米ぬかの鮮度を維持したまま、オイルの中に閉じ込めました。



Point 03 ノンケミカル精製法 (スチームリファイニング製法)

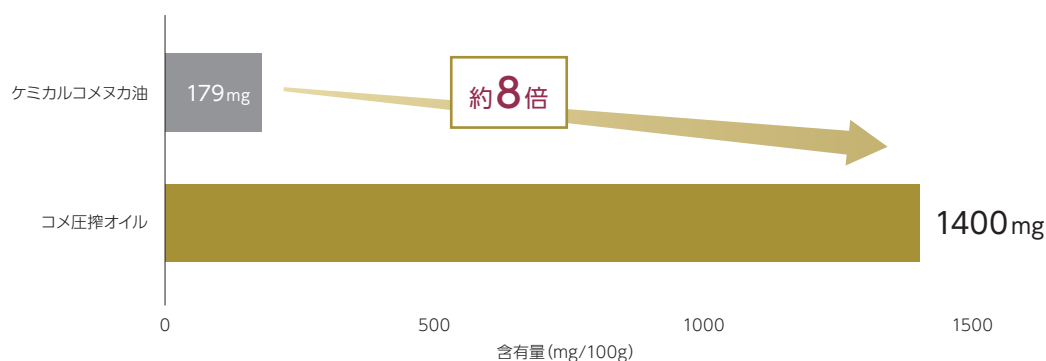
米ぬか本来の成分をそのままに

ノンケミカル製法にこだわり、スチーム(蒸気)を使った精製法を採用。豊富な機能性成分(不けんか物)を残しながら、1週間以上かけて丁寧に精製。薬剤に頼らないナチュラルな製法により、米ぬか本来の機能性成分はそのままに、肌に触れても安心な、パワーに満ちたライスブランオイルをお届けします。



美白・アンチエイジング成分 γ オリザノール高含有

γ オリザノールとは米ぬか特有のポリフェノール成分で、フェルラ酸とステロールとが縮合したエステル類です。



γ オリザノールの主な効果

- ▶ 美白(チロシナーゼ活性阻害)
- ▶ アンチエイジング(抗酸化)
- ▶ 紫外線吸収能
- ▶ 保湿(皮脂の分泌促進)

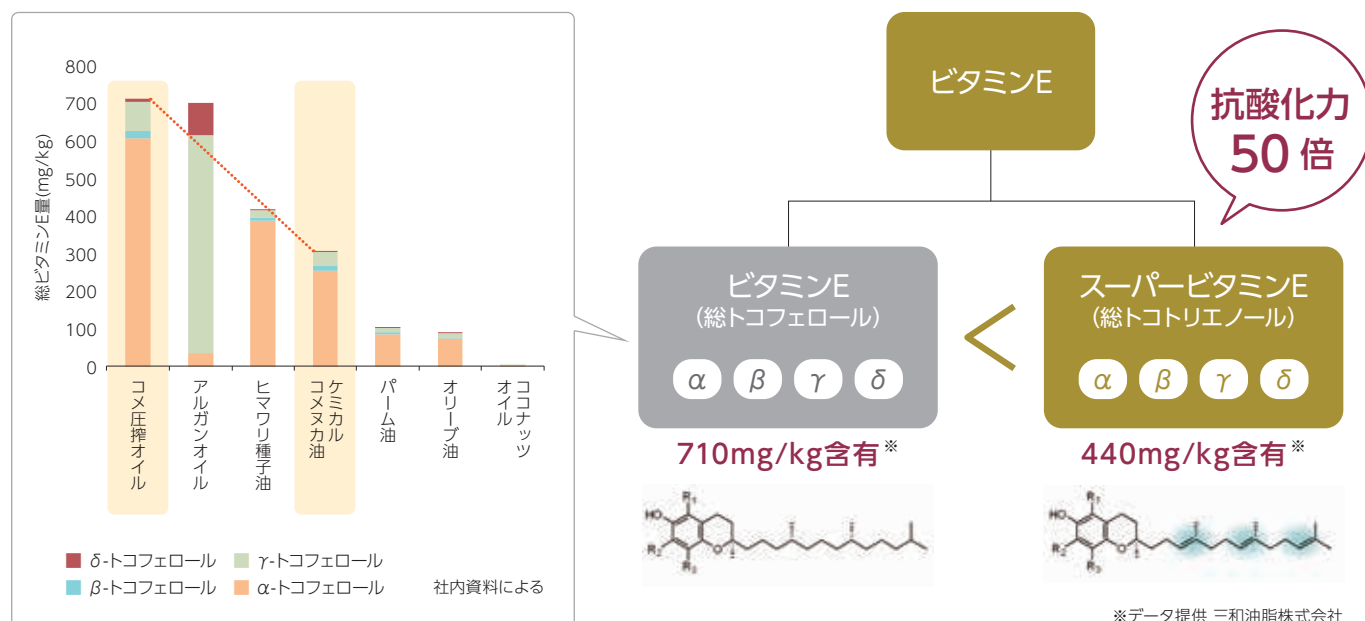
※データ提供 三和油脂株式会社

機能性

抗酸化成分 ビタミンE・スーパービタミンE

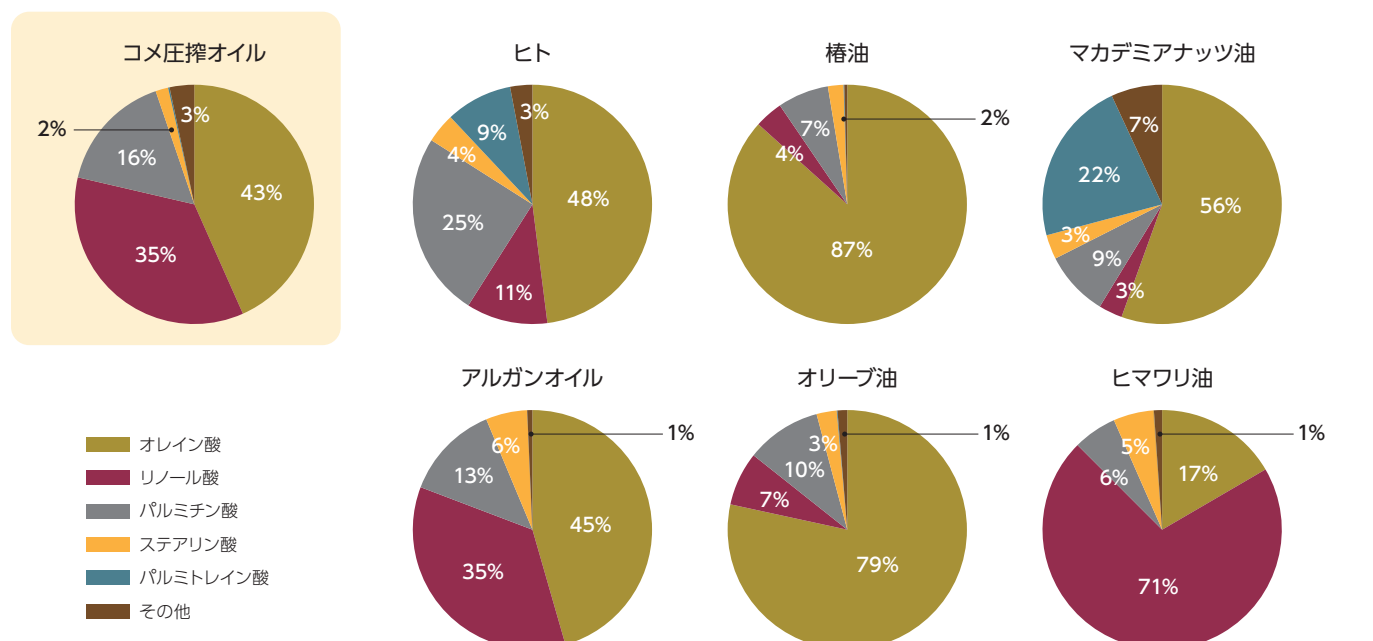
コメ圧搾オイルはビタミンEを豊富に含みます（ケミカルコメヌカ油の約2倍）。特に、生体内で抗酸化作用を有する α トコフェロールの含有量が多く（アルガンオイルの約17倍）、アンチエイジング効果が期待できます。

その他に、ビタミンEの50倍の抗酸化力があり、しわ・シミの改善効果やアンチエイジング効果が期待される希少な機能性成分・スーパービタミンEを含んでいます。



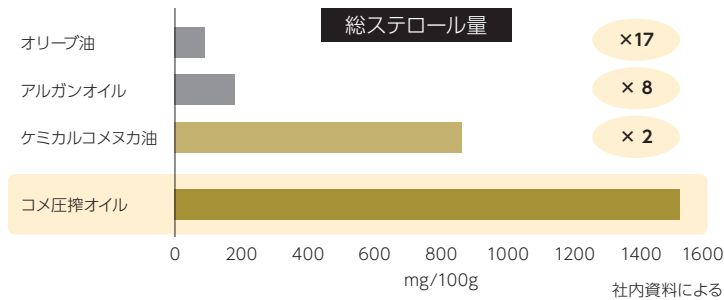
脂肪酸組成

安定性の高いオレイン酸を豊富に含み、その含有量が人の肌に近く、肌なじみがよいのが特徴です。美容オイルとして注目を集めるアルガンオイルと脂肪酸組成が近いオイルです。



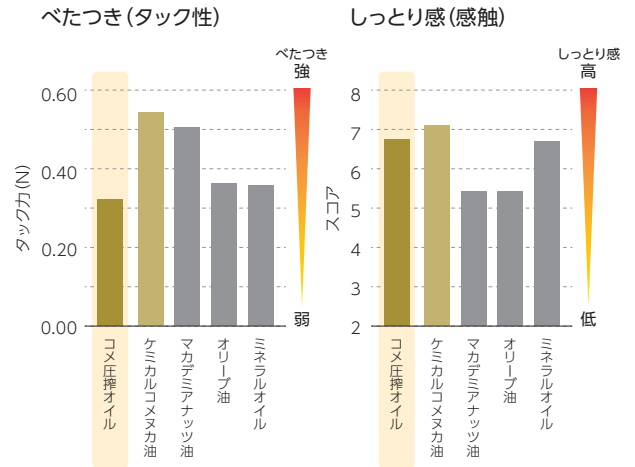
肌バリア成分 フィトステロール

一般的に、コメヌカ油のフィトステロールには β -シトステロール、スチグマステロール、カンペステロール等が含まれており、主成分である β -シトステロールは化学物質や紫外線によるダメージから肌を保護するバリア機能改善成分として化粧品に使用されています。



保湿、肌バリア効果があるフィトステロールが他の油に比べて多く含まれております。(ケミカルコメヌカ油の約2倍、アルガンオイルの約8倍、オリーブ油の約17倍)

使用感

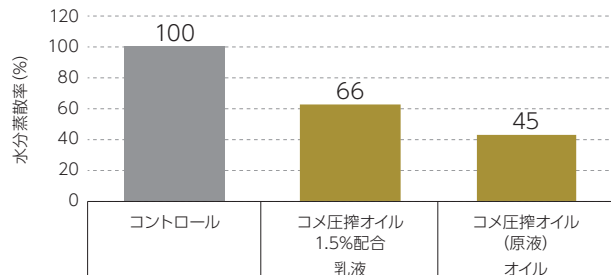


べたつきが少なくしっとりとした使用感が特長です。社内資料による

肌バリア・保湿

水分蒸散率 (In vitro 試験)

各検体を配合した乳液または原液を寒天培地に塗布し、24時間静置後、蒸発水分量を測定し、水分蒸散率を算出。

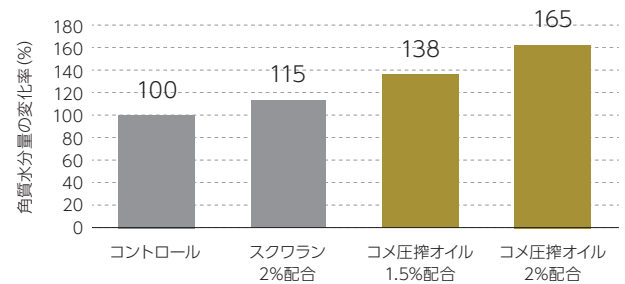


乳液にコメ圧搾オイル1.5%以上を配合することで水分蒸散が約34%抑制され、オイル原液塗布の場合は、約55%抑制されました。

高い水分蒸散抑制効果を有することが確認されました。社内資料による

保湿効果 (ヒト試験)

各検体を配合した乳液を塗布し、5分後の角質水分量の変化率を算出。



コメ圧搾オイル1.5%以上を配合することで保湿効果が約40%増加

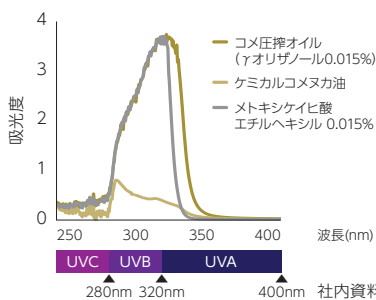
スクワランに比べ、高い保湿効果を有することが分かりました。

社内資料による

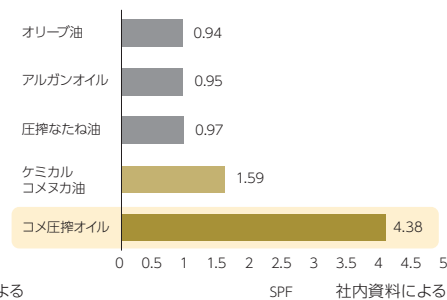
紫外線吸収能 (UVケア効果)

試験方法: 吸光度およびSPFアナライザーを用い、各検体の吸光度とSPFを測定。

吸光度



SPFアナライザー

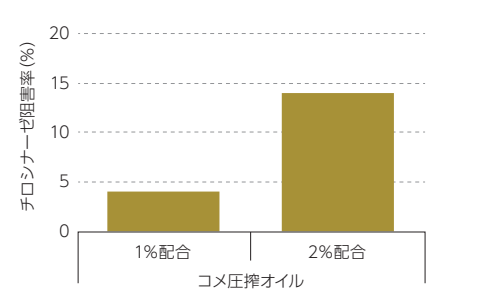


コメ圧搾オイルに豊富に含まれるγオリザノールはUVAおよびUVB吸収を有します。フェルラ酸骨格による吸収メカニズムのため、UVB紫外線防衛剤であるメトキシケイヒ酸エチルヘキシル同様のUV吸収を示します。

チロシナーゼ活性阻害効果

試験方法: コメ圧搾オイル、チロシナーゼ、L-DOPAを反応させ、吸光度測定により、チロシナーゼ阻害率を算出。

チロシナーゼ活性阻害効果



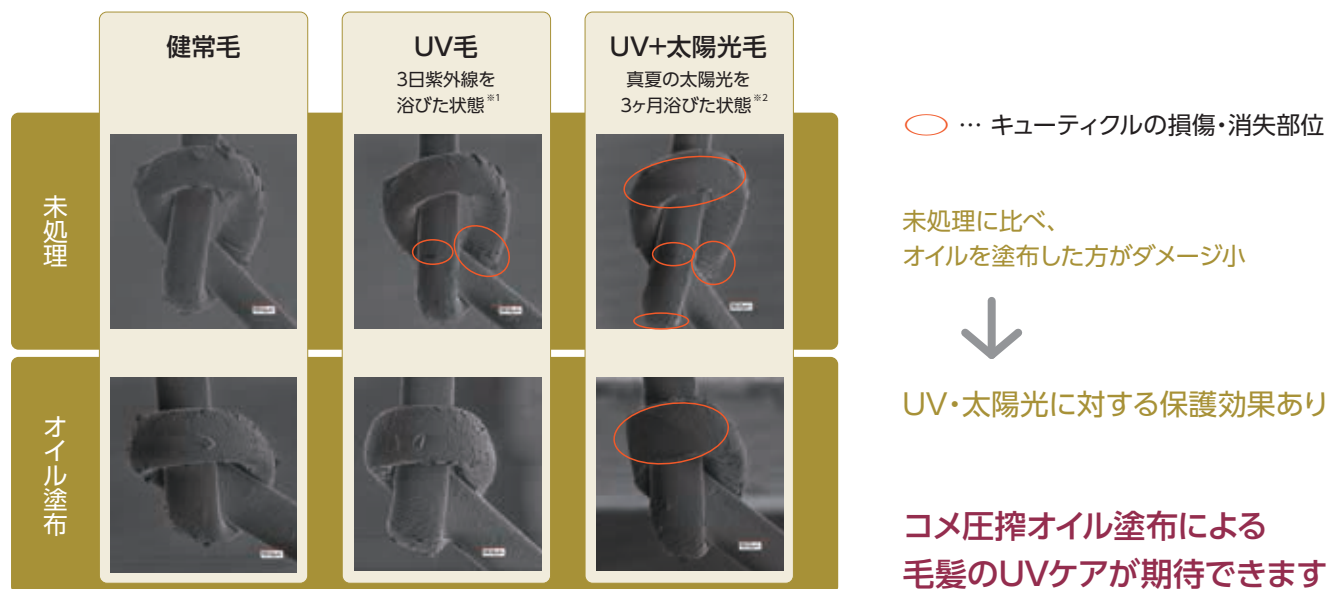
濃度依存的なチロシナーゼ活性阻害能を有します。

UVケア効果と美白効果が期待できる、ユニークで自然に優しい植物オイルです。

ヘアデータ

毛髪保護効果 (UV・太陽光)

試験方法: 未処理またはオイル塗布の健康毛にUVおよび太陽光を照射し、毛髪状態を走査電子顕微鏡 (SEM) にて観察。



※1 UV処理: 波長254nmを3J/cm² 照射 (UVBの1日積算量は1~2J/cm²)

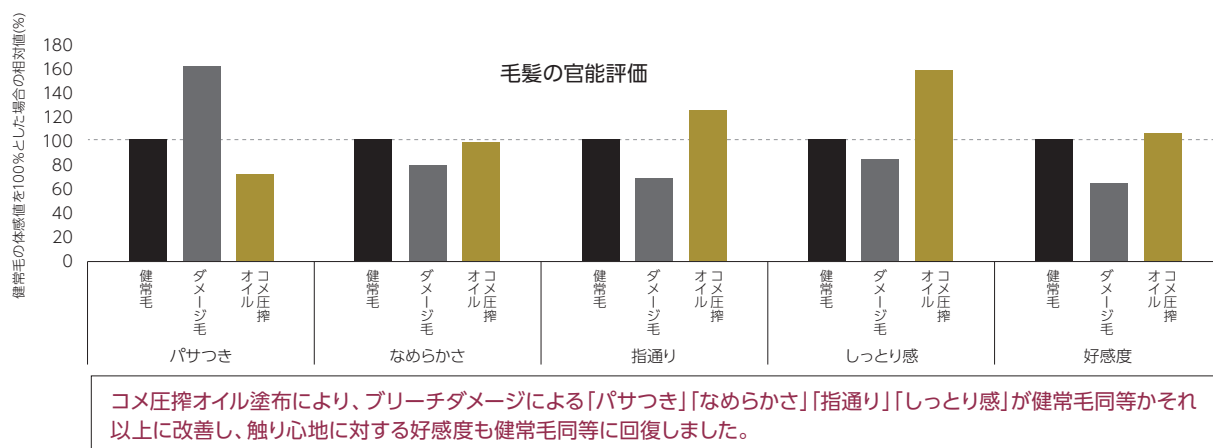
※2 太陽光処理: 波長300~800nmを6.5時間 (計1800J/cm² : 真夏の正午に1時間外にでていた時の3ヵ月相当) 照射

社内資料による

ダメージケア効果

ダメージケア効果

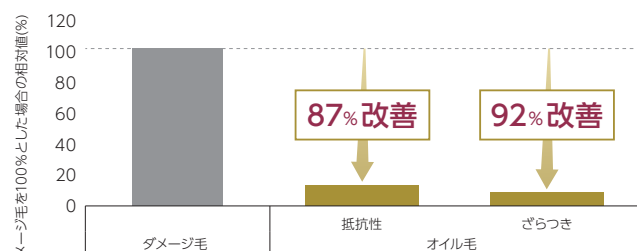
試験方法: ダメージ毛にコメ圧搾オイルを塗布し、健康毛およびダメージ毛と比較した場合の官能評価を実施。



社内資料による

櫛通り

試験方法: ダメージ毛とオイル毛 (ダメージ毛にコメ圧搾オイルを塗布) の抵抗力とざらつきを摩擦評価器で測定し、櫛通り評価。



コメ圧搾オイルがダメージによる櫛通り時の抵抗力・ざらつきを改善し、なめらかな毛髪状態へ導きます。

社内資料による

広がり



つや



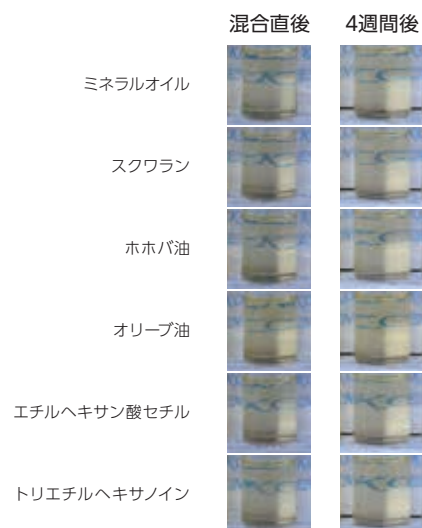
社内資料による

コメ圧搾オイル塗布により、ダメージによる広がりを抑えられ、まとまりとつやのある髪に仕上がります。

基本物性

各油剤との相溶性

試験方法：コメ圧搾オイルと各油剤を各50%混合後、室温にて4週間保管し、経時的に観察。

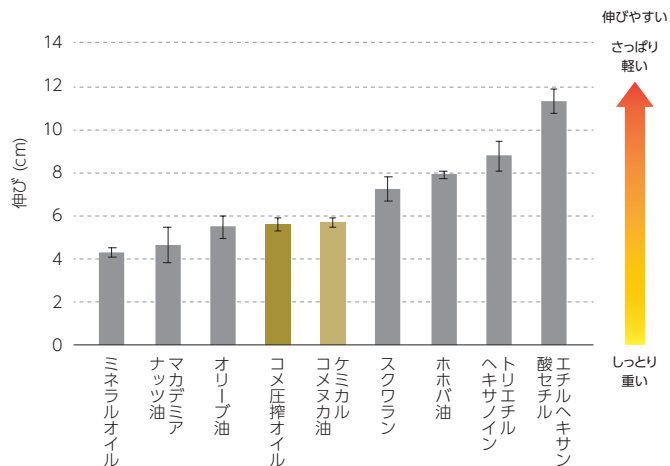


社内資料による

いずれの油剤とも相溶性に問題はありません。

オイルの伸び性

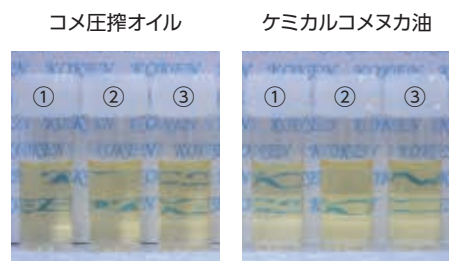
試験方法：人工皮膚に各サンプル20 μ Lを滴下。人工皮膚を垂直に立て、30秒後のオイルの位置を計測し、伸び性を評価した。(n=3)



伸び性はミネラルオイルやマカデミアナッツ油に比べ、伸びやすく、オリーブ油に近似しています。ケミカル製法との差はありません。

社内資料による

外観 (Lot間差)

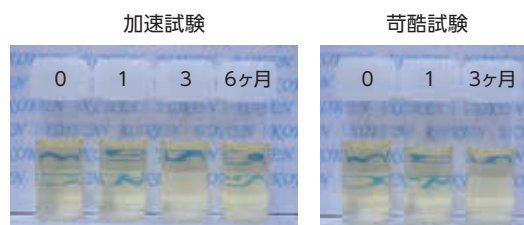


社内資料による

Lot間で外観に差はありませんでした。
ケミカルコメヌカ油との差もなく、置き換えが可能です。

経時安定性

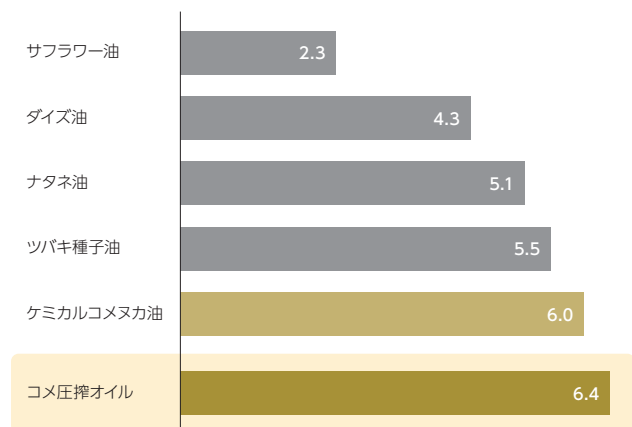
試験方法：加速試験(40℃、75%RH)、苛酷試験(55℃)条件で保管した検体の外観確認および原料規格に準じた試験を実施。



社内資料による

加速および過酷試験の結果、製品規格内でした。

酸化安定性 CDM(120℃)



ケミカルコメヌカ油や他の植物油に比べ、高い酸化安定性です。

社内資料による

規格

規格項目	規格値	試験方法
性状	淡黄色の液で、わずかに特異なおいがある	官能試験
確認試験	波数2930cm ⁻¹ 、2860cm ⁻¹ 、1745cm ⁻¹ 、及び1165cm ⁻¹ 付近に吸収を認める	医薬部外品原料規格(コメヌカ油)
酸価	0.3 以下	医薬部外品原料規格(コメヌカ油) 酸価測定法 第2法 指示薬：アルカリブルー 6B
けん化価	170 ～ 200	医薬部外品原料規格(コメヌカ油)
ヨウ素価	90 ～ 120	医薬部外品原料規格(コメヌカ油)
不けん化価	10 % 以上	医薬部外品原料規格(コメヌカ油)
γオリザノール	1.2 % 以上	紫外可視吸光度測定法

γオリザノール含有量を規格化。

(参考値) 比重:0.921 (25℃)、凝固点:-5.5℃

社内資料による

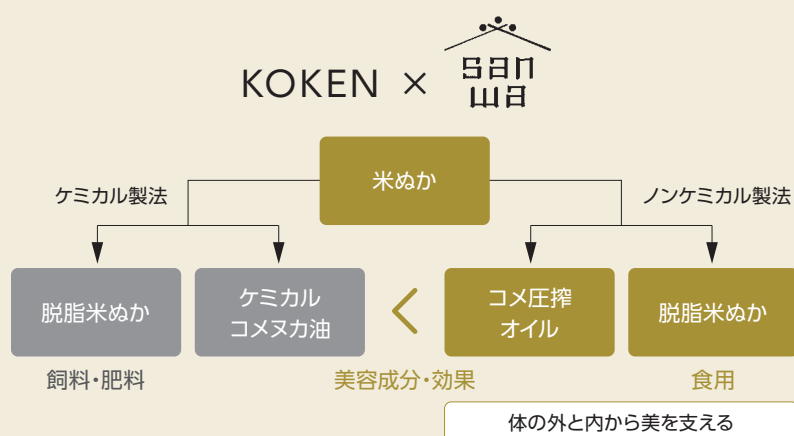
お米の「可能性」を追求する

地産地消の循環型の生産・消費スキームで、持続可能な環境にもやさしい製法を実現します

コメヌカ油は国内生産可能な植物油

コメヌカ油は国内生産可能な代表的な植物油です。古来、日本人の食文化を支えてきたお米は「日本の美」の秘訣ともいえます。

また、ノンケミカル製法は環境にも優しく、自然の循環を乱さないナチュラルな製法です。三和油脂社の高い技術力とKOKENの培ってきた化粧品に対する知識を融合し、お米の「新しい価値」を生み出していきたいと考えています。



配合推奨量：1.5%～原液

安全性評価：ヒト皮膚累積刺激性試験 (HRIPT) 実施済み
 皮膚刺激性代替試験 (OECD TG439) 刺激性なし
 目刺激性試験 (RhCE) 刺激性なし
 光毒性試験 (3T3-NR法) 陰性

製品番号	製品名	表示名称	INCI名／中文名称	他成分	包装	サンプル
RBS-105	コメ圧搾オイル	化粧品：コメヌカ油 部外品：コメヌカ油	ORYZA SATIVA (RICE) BRAN OIL 稻 (ORYZA SATIVA) 糠油	—	16.5kg	50g

原産国：日本 原産地：日本

自然指数・自然由来指数：1（ISO16128、配合水を含まない）

※本資料の記載内容は、現時点で入手できた資料及び実験データに基づいて作成しておりますが、記載内容はいかなる保証をなすものではありません。※本資料に記載された内容は、都合により変更させて頂くことがございますので予めご了承ください。掲載データ及び関連書類に関する著作権、意匠権を含む一切の知的財産権は株式会社高研に帰属し、許可なく複製・転載・引用することは一切禁じます。尚、これら材料の安全な使用にあたっては、当該製品のMSDSを事前にご参照ください。また、当該製品を配合した消費者向け製品への表現については、医薬品医療機器等法の関連法規に従うようご注意ください。

お問い合わせ

株式会社 高研

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14
 TEL 03-3868-0560 FAX 03-3816-3570
<https://koken-cosme.com/>

